



©株式会社瑞穂公園 LOOP-PFI

※画像は 2022 年 7 月現在のイメージです。設計確定後、変わる場合があります。

- (左) 「8 の字ループ」を中心とした瑞穂公園のリニューアル
- (右上) 新しい陸上競技場を含む瑞穂公園の鳥瞰
- (右中) 地域の象徴となる陸上競技場
- (右下) 約 3 万席の全席屋根付きの陸上競技場

名古屋市「瑞穂公園」のリニューアル

2026 年に第 20 回アジア競技大会および第 5 回アジアパラ競技大会が名古屋市瑞穂公園陸上競技場（パロマ瑞穂スタジアム）をメインスタジアムとして開催されます。それに合わせ、PFI 事業（竹中工務店グループが落札）により瑞穂公園陸上競技場の建て替え等が行われることになり、2022 年度中に実施設計がなされる予定になっています。また、名古屋市ではスタジアムだけでなく、その周辺をバリアフリー法に基づく重点整備地区（市内 5 地区目）として「瑞穂公園陸上競技場地区バリアフリー基本構想」が策定されることになり、2022 年 11 月の公表に向けて検討が進められています。

名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業：<https://www.city.nagoya.jp/sportsshimin/page/0000154029.html>

【所属機関・連絡先】

大同大学 工学部 嶋田喜昭

Tel : 052-612-6111 E-mail : shimada@daido-it.ac.jp